

日本チェンバロ協会・第16回例会

公開講座「チェンバロの名器を訪ねて」

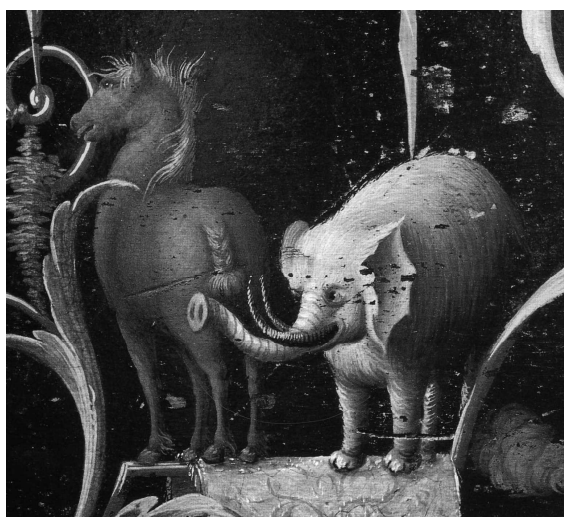
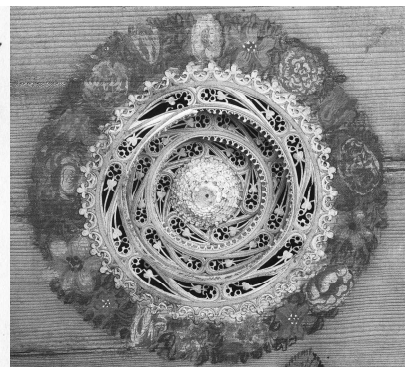
～ヨーロッパの楽器博物館・コレクションをめぐる旅～



日本チェンバロ協会
Japan Harpsichord Society

講師：渡邊順生

16～18世紀に作られたチェンバロの多くは、あらゆる楽器の中でも最も美しい楽器です。蓋やケース、響板には美しい絵が描かれ、彫刻や象嵌（嵌め木細工）、象牙や亀甲、金箔や宝石などで装飾されました。スタンドや脚などにも、非常に凝った装飾の施されたものが少なくありません。ですから、チェンバロは、あらゆる美しいものを詰め込んだミニチュアの小宇宙だったのです。この講座では、カラー・スライドとお話で、ヨーロッパのおもだった楽器博物館と個人コレクションを歴訪します。



10月25日（日）

午後13時より

桐朋学園調布キャンパス222教室

定員70名（日本チェンバロ協会及び一般＝40名／桐朋学園関係者は30名）

会費：一般¥2000 / 学生及び日本チェンバロ協会会員¥1000

桐朋学園関係者は無料

要予約 お申込み・お問合せ：日本チェンバロ協会例会係 <cembalo_events@yahoo.co.jp>

主催：日本チェンバロ協会／桐朋学園大学古楽器科